



~結ぶ絆から、広がるご縁へ~

もう 春来るころ お彼岸の季節も迎えます。

こころもからだも 念仏申し あたたかい

2月2日(日) 恒例の仏教婦人会報恩講がにぎやかに勤まりました。

「真宗宗歌」の歌声の中役員さんによる献供が行われ、みなさんで「しんじんのうた」をお勤めしました。今日は、遠路姫路よりお越しの西信寺山口紀子さんにご法話をいただきました。

《 阿弥陀さまの本願(根本の願い)は、生まれてきてよかったですという思い、あなたに安心を与えてあげたいという願いです。

いつでも どこでも どんなときでも 阿弥陀さまの願いはこの私に届いてくださってあります。その願いが私のところに「なもあみだぶつ」と喚び声となっておはたらきくださってあります。その願いに生きられ、私たちにもお念仏喜ぶ心を教えて下さった親鸞聖人また、恵信尼さまでした。そして、お互いを観音様のご化身と仰いでおられました。私たちも生活の中のお念仏ではなく、お念仏の中での生活をさせていただきたいですね。

また、家を飛び出した子どもにお母さんが「おにぎり作ったから冷める前に帰っておいで」というメールを送ったのが大賞になった。阿弥陀さまのお心は親が子のことをいつも心配しているように帰っておいでという言葉の中に、いつでもどこでもあなたのことに帰る場所はあるんだよ 引き受けたよと全部受けとめてこの私に喚びかけ、おはたらきくださるのがお念仏です。》



2年間臼井美津子会長はじめ、横山輝代副会長、小林勢津子会計さんに仏婦のお役を務めて下さいました。  
皆さまお疲れさまでした。  
婦人会総会が持たれ、新役員さんには

会長 鈴木由記子さん  
副会長 鈴木郁子さん  
会計 内田順子さんに  
お引き受けいただきました。  
宜しくお願ひいたします。

正月汁 2月16日の旧正月、親鸞聖人のご命日に各組のかたが寄り合い、お勤め、法話お斎をいただく行事です。

今年は新町新道組で、日曜日に当たったこともあり沢山お参りされました。「正信偈」のあとお話は「黑白二鼠の譬え」です。皆さん熱心にご聴聞下さいました。  
組の方々が年に一度顔を合わせ、共にお斎をいただき懇親の場を持たせていただくご縁は、これからも大切に勤めさせていただこうと思います。



2月無量寿会例会では、お釈迦様涅槃会にちなみ

「涅槃図」のビデオ鑑賞と丸橋会長のソチオリンピックでの感動したお話を聞きました。温かい鯛焼きをいただきてお茶をした後ふれあいのひと時は、会長さんがチームを作り、オリンピックをいたしましょうと、豆をストローでカップに入れる種目、なぞなぞを説く種目、早口言葉などチームでトライ。優勝チームはチョコのメダルをいただきました。今月は追悼法要です。



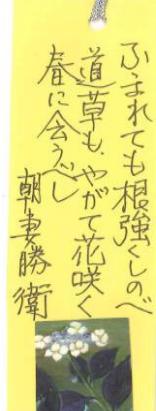
佛教壯年會

2月22日(土)例会を持ちました。高橋副会長より教区研修会に参加して「地域に密着したお寺づくり」のテーマで、聴聞の拠点とするのがお寺であり、どう活性化していくか。また、門徒のたしなみについてのご報告をいただきました。その後、例会やお寺の行事にどう参加を募るのか、お寺の魅力とは何であるのか、聴聞することは大事なこと、組織をどうしていくのかなど話し合いをもちました。

札幌市 大島義  
義兄 言葉 気 成  
墓 何处在 「  
真冬 何故聞  
義兄 今年九十六歳 壮  
女房 婦(長女) 亭主  
義兄 現役 離 三十年  
娘達 皆嫁 孫 話満載  
夫婦仲 良様 心 和  
知識 見識 素晴  
何時 人生行路 拝聴  
義兄 体弱つ來  
食事 觀  
最近 音 高過  
話途中 同 聞  
誰 つ 名前 聞返  
今朝 何故 気懸  
私父 往 一年前  
墓参 云つ  
優 人生 大先輩 義兄  
何時迄 元氣 居欲  
南無阿弥陀仏



春がもうそこまで来ています。花粉の方お辛い時節、本堂の縁は拭き掃除に追われます。くれぐれも皆さまお大事になさって下さい。



落合登代子

ものの芽の 動きも春の 立ちにけり  
春愁や 梵鐘長く 尾を引いて  
離の息 こもれる箱を 用きけり  
安穩に 暮らせる日々や 離まつる

水溜り  
写りし雲や 春浅し



皆様からの、感想・投書・俳句・記事・出来事など気軽にお寄せ下さい。お待ちしています。